

## 総合文化学科

学科長

笹川 洋子

SASAGAWA Yoko

2019年11月3日（日）にラーニングコモンズにて開催された文学部総合文化学科／国際教育研究センター主催の国際交流 DAY は、第2回目の開催を迎えた。本学科1年次基礎演習の全学生、学部生、留学生が、参加した。当日は三部構成にてプログラムを実施し、午前の第一部ではポスターセッションと講演会、午後は第二部にフィールドスタディ発表会、第三部に留学生日本語スピーチの会を行った。

第一部のポスターセッションでは、オーストラリア、中国、ベトナム、韓国をテーマに1年生の学生たちがポスターを作成し、前半30分、後半30分に分かれ、プレゼンテーションを行った。活気のあるセッションであった。その結果、最優秀賞1チーム、優秀賞2チーム、奨励賞3チームが選ばれた。

講演会では、兵庫県国際交流協会所属 カイ・シムズ氏をお招きし、「移民国家オーストラリア～日常生活の中にある多文化社会～」の題目で講演をしていただいた。カイ・シムズ氏の講演は、講演内容について質問をしながら、その場で学生のスマホに答えてもらい、その結果を見ながら、講義を進めるといふ、非常にアクティブな素晴らしい

内容であった。世界に広がる、国際交流 DAY にふさわしい講演であった。

第二部のフィールドスタディ発表会では、神鉄とのコラボ企画について、岸上ゼミの学生たちがパワーポイントの資料を使い、活気のあるプレゼンテーションを行った。「フィールドスタディⅠ・Ⅱ」「デザイン思考」の学びを活用して、フィールドワークとして現地で活動体験を行い、地域を活性化するイノベーションを企画、提案する内容だった。学生たちのアイデアの豊かさに改めて感銘を受けた。

第三部の留学生日本語スピーチの会は、本学に在学の留学生19名がスピーチを行い、賑やかなイベントとなった。日本に来て間もない学生が日本語を用いて、これまでの留学での経験、自国の文化と日本の文化を比較し、気づいたことなどを一生懸命に語り、感動的なスピーチが続いた。留学生の日本語教育に関わってくださっている先生方のご指導の成果を見る思いがした。

最後に、国際交流 DAY のイベント企画に携わり、学生をご指導いただいた教職員の皆様、また当日、学生の発表を聞きに来て下さった教職員の皆様に、深くお礼を申し上げたいと思う。

